

EU 金融取引税 (FTT) 電話会合

2014年7月16日(水)

出席：英国の3つのNGO・1つの労働組合、ドイツの3つのNGO、イタリアの1つのNGO
欠席：フランスの2つのNGO

1. 11ヶ国のFTT

a) イタリアキャンペーンからの報告

- ・7月2日、イタリアが6ヶ月間のEU議長国となることを受けて行われた欧州議会でのレンツィ首相の就任スピーチに合わせ「ツイッター・ストーム」を実施

：この活動では、多くのイタリアのキャンペーン・メンバーを巻き込みながらも、その他多くの国から1000を超えるツイートが集められた。レンツィ首相はこれに対しまだ触れておらず、欧州議会議員からのFTTに関する質問にも応えていない。イタリアEU議長国の議題としてFTTは簡略に言及されたが、パドアン財務大臣から公式声明はまだ出ていない。

- ・7月3日、ヨーロッパの市民社会組織が署名したレターを、レンツィ首相・パドアン財務大臣、およびその他政府・財務省の担当者へと送付

：まだ公式回答はない。私たちは今週末にも内閣官房長官と会合を持つことを希望しており、フォローしていく予定だ。

- ・7月8日、イタリアのキャンペーンがスタント・アクションを実施（訳者注；写真参照）

：本アクションは、メディアヘレターが提示されたタイミングで実施された。ジャーナリストらがスタント・アクションに参加したことで多くの新聞で取り上げられ、特にテクニカル/ポリシー・スポークスマンらへのインタビューが紹介された。ZeroZeroCinque（訳者注：イタリアのFTTキャンペーン団体）のスポークスマンはAll Newsチャンネルでインタビューを受けFTT反対のエコノミストと対抗し、（驚くべきことに）エコノミストは高頻度取引の抑制と税収面に関して好意的に言及した。

- ・イタリア内閣高官らは、過去FTTを公式に支持している

：私たちのすべての声明で、この事実を明らかにした。

b) イタリア議長国とのさらなる取り組み

：Avinash Persuad（訳者注*）とIuvenale（EU経済・財務相理事会〔ECOFIN〕およびFTT交渉を担当する国際関係部門のトップ）との間で、7月末までに会合が持たれるよう取り組みを進めている。その他の省庁関係者へもこのような会合に出席するよう提案した。

*アヴィナシュ・パソード：インテリジェンス・キャピタル有限責任会社（Intelligence Capital Ltd.）の社長

c) アップデート：ブリュッセル=Capitals inc.からの新たな知見-租税問題に関する作業部会（Working Party on Tax Questions; WPTQ）およびECOFIN

：昨日（7月15日）のWPTQでは、加盟国らが3つの文書について議論した。うち2つの文書は欧州委員会によって作成されたもので、a) 発行地 vs 居住地、およびb) FTT実施の第一段階でどの資産を対象として含めるか、についてである。もう1つの文書はイタリア議長国からで、重要な技術的問題が提示された。…以下、省略…

d) EU欧州委員会選挙：

- (i) 7月15日、欧州議会がジャン・クロード・ユンカーを欧州委員会委員長に選出

：ユンカー委員長のスピーチで、彼はFTT導入に向けて取り組むことをコミットした（[ユンカー氏が欧州議会議員向けに出したプログラム・ドキュメント](#)のp.6にも言及がある）。彼は今後、ヨーロッパ各国政府に対し、あらゆる欧州委員のポストへの推薦を諮問する予定だ。すべての候補者は、10月初めの欧州委員会全体に関する年次投票が行われる前の9月中に、欧州議会関連コミッティーにて聴聞会に参加することとなる。欧州議会は、聴聞会で失敗した候補者を「送り返し」、誰か他の候補者を送るよう国家に強制する権限を持つ（これまで数回起こったように）。**アクション**

ン：このような過程に鑑み、私たちが欧州委員税制担当候補者を擁立できるよう、経済金融問題委員会（ECON）で候補者を聴聞することとなる友好的な欧州議会議員を通じて、FTTに関する質問草案を準備することが重要となる。

(ii) 税制委員

：ユンケル氏は10月の投票前の夏には、税制担当委員選出に関して各国政府と交渉するだろうと見られる。アクション：Elena [TUC] は、9月初めまでに何らかの企画を考案するためにEU FTTリスト（※以下「2-c) 当局者マッピング」を参照）にコンタクトする。

(iii) Robert Gualtier イタリア欧州議会議員は現在、影響力のあるECON議長を担当している。アクション：イタリアのキャンペーンは、出来る限り早いうちに彼との会合をセッティングするためコンタクトする。

e) フランスのアップデート

：フランスのキャンペーンは最近FTTに関して、強力なロビー活動を展開している。先の数週間のうちに、アドボカシー会合を2回開催し、メディアへの売り込みを2回実施した。

f) ドイツのアップデート

- ・ドイツのキャンペーンは8月ないし9月にスタント・アクションを開催する予定だ。イタリアなどその他のキャンペーンは、このスタント・アクションをソーシャル・メディア等で促進していく。…中略…
- ・今週末、ショイブレ財務大臣はフランスのカウンター・パートである財務大臣とベルリンで会合を持つ予定。

2. 政策・アドボカシー

a) Avinash Persaud の論文

：彼の出版前バージョンの論文を当局関係者らに送る前に、私たち何人かで論文を回覧する日を決めなければならない。現在、最終出版バージョンに向け2、3のマイナーな修正が残っている状態で、公式出版日は直に発表される予定だ。私たちはニューヨーク・タイムス国際版への特別記事（op-ed）へも同時に寄稿されることを期待している。…以下、省略…

b) Avinash Persaud の会合

：先週ブリュッセルでは、Avinashと当局関係者らの会合を持つことはできなかった。私たちは7月末にローマで、8月末にベルリンで会合を持てるよう模索している。…以下、省略…

3. (活動の) 再配置

a) 100万人署名：…キーとなるターゲット候補は以下。

- ・10月10日：世界教師デー
- ・11月：グリーン気候基金支援会議
- ・12月1日：世界エイズデー

アクション：署名運動へ何らかの形でコミットできる方は…お知らせください。

b) 国連開発資金調達 / 気候変動資金調達 / ポスト2015

：来年は7月のアディス・アベバでの国連開発資金会議や12月のパリでのCOP21を含む、多くのハイレベル・イベントが開催され、配分に関する非常に重要な年となることが取り上げられた。アクション：皆さんのキャンペーンやメンバーの2015およびポスト2015へ向けての取り組みについて、どんな情報でもぜひシェアしてください。

4. 次回会合：2014年7月30日（水）14:00（UK）/ 15:00（CET）

（翻訳：K.Tsuda）